

令和2年度 社会福祉法人福岡育児院 事業報告

◆ 法人運営について

1 理事会開催状況

開催年月日	議事内容	出席者
令和2年5月22日 (書面決議)	1. 令和元年度事業報告及び決算報告、 監事監査報告について 2. 令和元年度福岡市定期指導監査の指導事項 及び改善状況等の報告について 3. 定時評議員会の招集について (決議の省略による方法) 4. 就業規則及び給与規程の一部改正について 5. 地域小規模ポラリスの土地・建物買取について	
令和2年10月21日	1. 令和2年度予算の執行状況について 2. 就業規則の一部改正について 3. 労働基準監督署による是正勧告及び指導について	理事6名 監事1名
令和2年11月27日	1. 令和2年度第1次補正予算(案)について 2. 地域小規模ポラリスの改築計画について	理事6名 監事1名
令和3年3月26日	1. 令和2年度第2次補正予算(案)について 2. 令和2年度積立金の取崩し及び前期末支払資金 残高の取崩しについて 3. 令和3年度事業計画及び予算(案)について 4. 就業規則、給与規程、育児・介護休業等に 関する規則の一部改正について 5. 役員、評議員選任・解任委員、評議員候補者の 推薦について	理事6名 監事2名

2 評議員会開催状況

開催年月日	議事内容	出席者
令和2年6月16日 (書面決議)	1. 令和元年度事業報告及び決算報告(案) 2. 社会福祉充実計画について 3. 地域小規模ポラリスの改築計画について	

3 苦情解決委員会について

令和2年度 該当なし

*福岡育児院に対する地域の声について尋ねたところ、特に苦情等は聞かないという回答があった。

◆ 児童について

1 こどもの権利擁護と自立支援

『養育理念』

こどもたちが「福岡育児院で育てられて良かった」と思える施設づくり

- 一、入所児童の権利擁護を基本理念として、こどもを中心に据えた養育の充実と治療的なケアも含め、ひとりのこどもに全職員で向き合い、社会的自立にいたるまでの援助・支援を行う。
- 一、基本的な生活習慣や節度ある態度の涵養と、自らを認める自尊感情や物事への感謝等人間関係の基礎を培う。
- 一、学習に励み、勤労を学び、困難にくじけない忍耐力とお互いに協力する精神を育てる。
- 一、創意工夫する態度を身につけ、自主的に又、合理的に物事を判断する力を養う。
- 一、身の回りの清潔に対する関心を高め、健康に留意する等の衛生観念を養うとともに、美しいものを愛し、豊かな心を育てる。

2 入所実績【定員67名（うち 地域小規模施設12名）】

入所定員	67名	延人員	804名
平均入所数	53名	延入所数	636名
入所率	78%		

3 入所状況（令和2年4月1日）

	男	女	計
幼 児	3	0	3
小学生	5	15	20
中学生	6	7	13
高校生	4	5	9
合 計	13	21	45

4 入退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	末	末	末	末	末	末	末	末	末	末	末	末
幼 児	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
小学生	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	18
中学生	14	14	14	14	16	16	16	16	16	16	16	15
高校生	9	9	10	10	10	11	11	12	12	12	12	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	46	46	47	47	50	50	50	51	51	51	51	43
入所率	68%	68%	70%	70%	74%	74%	74%	76%	76%	76%	76%	64%
入所7名	1	0	1	0	3	1	0	1	0	0	0	0
退所9名	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8

※その他は措置停止児童

※退所児童に卒院生（高3）4名含む

5 入所理由（令和2年4月1日）

措置理由	
父母の死亡	2
父母の行方不明	0
父母の不和	2
父母の拘禁	0
父母の入院	1
父母の就労	0
父母の性格異常・精神障害	10
父母の虐待（放任）	7
（身体的）	4
（心理的）	1
（性的）	0
不適切な養育	3
養育拒否	7
破産等の経済的理由	3
不登校	0
里親からの措置変更	4
その他	1
合 計	45

6 退所理由（令和2年3月31日）

		父のみ	母のみ	両親	その他	計
退 所	家庭引取り		4		1	5
	他施設へ					0
	進 学（大学・短大・専門学校）	1	1			2
	就 職		2			2
	その他（行方不明）					0
合 計		1	7		1	9

7 ショートステイ及び一時保護児童の状況

	令和元年度				令和2年度			
	ショートステイ		一時保護児童		ショートステイ		一時保護児童	
	人数	在籍日数	人数	在籍日数	人数	在籍日数	人数	在籍日数
4月	4	26	3	30	20	112	5	82
5月	12	41	6	75	22	163	4	76
6月	14	67	1	29	24	111	4	49
7月	16	97	10	58	32	138	3	66
8月	13	57	8	125	49	185	5	147
9月	21	107	7	126	36	161	9	80
10月	16	87	5	104	29	120	4	80
11月	21	76	8	105	34	176	3	7
12月	20	80	10	154	32	171	3	59
1月	15	83	5	153	23	127	3	49
2月	20	88	6	100	23	93	4	77
3月	14	54	7	147	21	121	5	110
計	186	863	76	1206	345	1678	52	882

8 帰省状況

イ. 夏休み (8月12日～15日を中心に10日以内)

8月13日在籍数 47名

○里親 1名(2%) ○帰省児童19名(40%) ○居残児童27名(58%)

ロ. 正月 (12月30日～1月3日を中心に10日以内)

12月30日在籍数 51名

○里親 1名(2%) ○帰省児童19名(37%) ○居残児童31名(61%)

9 進路・進学状況

①高等学校卒業(男子1名・女子3名)

進学 精華女子短期大学(女子1名)

中村女子短期大学(女子1名)

就職 (男子1名)

(女子1名)

②中学校卒業(男子3名・女子4名)

○箱崎清松中学校・香椎第2中学校・吉塚中学校卒業

【進学先】 福岡市立福翔高等学校(1名)

私立沖学園高等学校(1名)

私立福岡有朋高等専修学校(1名)

私立純真高等学校(1名)

私立精華女子高等学校(1名)

私立若葉高等学校(1名)

私立福岡第一高等学校(1名)

③博多幼稚園卒園(男子2名)

10 活動状況について

こども達は、部活動や文化面において日々、意欲的に取り組んでいます。

[部活動] 野球部・剣道部・バレーボール部・テニス部・バスケットボール部
箏曲部・吹奏楽部

[文化面] 児童文化奨励絵画展 小学生の部 入賞1名

11 年間行事

月	行事内容	月	行事内容
5	小・中・高入学式・始業式	12	中2修学旅行
6	中学校交流会		幼稚園マラソン大会
7	幼・小・中・高終業式		幼・小・中・高終業式
9	幼・小・中・高始業式	1	幼・小・中・高始業式
	幼稚園運動会	2	私立高校入試・合格発表
10	小学校運動会	3	卒院・進級お祝い会
	小6修学旅行		卒園・卒業式
	七五三お祝い会(楡田神社)		公立高校入試・合格発表
11	博多不動産七五三写真撮影		幼・小・中・高修了式

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、通年行われている行事のほとんどが、中止となりました。

◆ 職員について

1 職員配置実績

区 分	R2年度 配置数	R元年度 配置数	増 減	備 考
施設長	1	1		
主任指導員	1	1		
主任保育士	1	1		* 兼任
家庭支援専門相談員				
女子部	7	7		
個別対応職員	1	1		
グループホーム	1	1		* 女子部担当
男子部	4	7		
一時保護・ショートステイ	14 (7)	6 (4)		* 育休 2 名
ポラリス	4 (1)	4 (2)		
アイリス	4 (1)	4 (1)		
処遇職員計	37 (9)	32 (7)	+5	
調理部	6 (1)	6 (1)		
心理療法士	2 (1)	2 (1)		
事務部	2 (1)	2 (1)		
嘱託医	1 (1)	1 (1)		入江小児科医院長
合 計	49 (13)	44 (11)	+5	

[備考] 1. 計画数の () 内は非常勤で、内数です。

2 職員研修参加実績

今年度はコロナ感染拡大防止のため、オンライン研修を主体に研修参加を行った。

期日	研修名	期日	研修名
6.12	コンプライアンス研修	10.5	保育士向けコミュニケーション研修
7.9	新任職員研修	10.29	県社協 労務管理研修
7.28	リーダーコミュニケーション研修	11.5	社会福祉士実習指導者講習会
8.6	2年目職員フォローアップ研修	11.12	市社協 救急法研修
8.24	対人関係構築研修	1.15	ファミリーソーシャルワーク研修
9.8	市社協 中堅職員研修	2.4	全国中堅職員研修会

3 施設の運営状況

福岡育児院家庭的養護推進計画に基づき、施設の小規模化、地域分散化を計画的に進めてきた。

○児童の処遇面について

- ・不適切な対応に関する研修や日常的な児童の様相等の変化についての報告・連絡・相談の徹底に努め、昨年度は不適切な対応は発生しなかった。
- ・一時保護、ショートステイの入所が増加し、職員間の連携を強化することで何とか無事に乗り切ることができた。
- ・行き渋り、不登校傾向の児童は減少したが、課題もあり今後課題解決に向けた取り組みを実践していく。

○職員体制について

- ・働き方改革を念頭に置き、職員一人一人が働きやすい環境づくりに努めたが、浸透しきれていない部分もあり、今後の課題として捉えている。

4 良質な職員の確保と育成

職場内研修において院内の課題解決に焦点を当てた研修内容で講師を招き、職員の資質向上に取り組んだ。ハローワーク等を活用し4名の職員を採用した。

5 居住環境や職員の執務環境を保持・増進

こどもたちのより良い居住環境や職員の執務環境を保持・増進するために、主に次のことを行った。

ア 設備の設置・点検及び修繕

勤怠管理ソフト導入、4F 空調室内機・室外機入れ替え、
一時保護児童居室、2・3F 児童居室の個室化改修工事
屋根防水改修工事、食堂天井改修工事

イ 物品購入

児童パソコン、洗濯機、職員パソコン
厨房 業務用冷凍冷蔵庫、児童手指殺菌乾燥機
コロナ感染症拡大防止対策
(消毒液・マスク・アクリルパーテーション)

6 施設運営の透明化の推進

(ア) 広報誌の発行

本院の広報誌「ふれあい」第15号を7月に発行し、保護者、地域等に配布した。

(イ) ホームページの充実

施設の運営、経営状況を透明化するため、財務諸表を公開。また苦情解決委員会の第三者委員の氏名・連絡先等を公表し、施設に関する情報等の収集に活用している。随時、施設の情報提供を行い、育児院を地域にとって身近な存在として理解していただけるように努める。